

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年01月08日

計画の名称	公園施設の長寿命化及び更新による安全・安心の公園づくり（防災・安全）											
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	西宮市											
計画の目標	公園施設の長寿命化を図るため、より安全・安心対策が必要な公園施設について、長寿命化計画を策定するとともに、バリアフリー化を踏まえた更新を行うことにより、公園利用者の安全・安心を確保する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	415	A	415	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R3当初)	中間目標値 (R5末)	最終目標値 (R7末)
1	より安全・安心対策が必要な遊具（ブランコ・複合遊具・すべり台・健康遊具等）及びトイレ（築30年以上）の長寿命化計画策定率を0%から100%に向上させる。（対象公園数：約450、対象施設数：約1300） より安全・安心対策が必要な遊具（ブランコ・複合遊具・すべり台・健康遊具等）及びトイレ（築30年以上）の長寿命化計画策定率を測定する。 (長寿命化計画策定率) = (目標年次における長寿命化計画策定済みの公園施設数) / (R3末までの策定を目標とする公園施設数) × 100(%)	0%	100%	100%
2	よりバリアフリー化が必要なトイレのバリアフリー化達成率を0%から100%に向上させる。 よりバリアフリー化が必要なトイレのバリアフリー化達成率を測定する。 (バリアフリー化達成率) = (目標年次におけるバリアフリー化済みのトイレ箇所数) / (R7末までのバリアフリー化を目標とするトイレ箇所数) × 100(%)	0%	51%	100%
3	長寿命化計画により令和07年度末までに更新が必要とされた公園施設の更新達成率を0%から100%に向上させる。 長寿命化計画により令和7年度末までに更新が必要とされた公園施設の公園施設の更新達成率を測定する。 (更新達成率) = (目標年次における更新済みの公園施設数) / (R7末までの更新を目標とする公園施設数) × 100(%)	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	西宮市	直接	西宮市	-	-	公園施設長寿命化計画策 定調査	公園施設(遊具・トイレ)の 長寿命化計画の策定(変更)	西宮市						36		策定済
	A12-002	公園	一般	西宮市	直接	西宮市	-	-	都市公園安全・安心対策 緊急総合支援事業	トイレバリアフリー化	西宮市						160		策定済
	A12-003	公園	一般	西宮市	直接	西宮市	-	-	公園施設長寿命化対策支 援事業	遊具更新・トイレ更新	西宮市						219		策定済
											小計						415		
											合計						415		



## 事前評価チェックシート

計画の名称： 公園施設の長寿命化及び更新による安全・安心の公園づくり（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 関係法令等との適合等 1) 目標が関係法令等の目的と適合している。	○
I. 目標の妥当性 関係法令等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 1) 住民・民間事業者等と連携して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R3	R4	R5	R6	R7
配分額 (a)	34.200	35.276	31.000		
計画別流用 増△減額 (b)	0.000	0.000	0.000		
交付額 (c=a+b)	34.200	35.276	31.000		
前年度からの繰越額 (d)	0.000	0.000	0.000		
支払済額 (e)	34.200	35.276	31.000		
翌年度繰越額 (f)	0.000	0.000	0.000		
うち未契約繰越額 (g)	0.000	0.000	0.000		
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000	0.000		
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0%	0%	0%		
未契約繰越+不用率が10%を超えて いる場合その理由	-	-	-		